

未来の輝く学校づくりのために

岐阜市の中心市街地(旧市内)にある学校は、ドーナツ化現象による居住人口の減少や出生率の低下による児童・生徒数の減少により、小規模化傾向が著しく認められます。

そこで、これらの学校の小規模化を解消するため、通学区域審議会より「旧市内における岐阜市立小学校及び中学校の通学区域のあり方について」の答申を平成14年5月に受けました。

旧市内における岐阜市立小学校及び中学校の通学区域のあり方について(答申の概要)

旧市内における岐阜市立小学校及び中学校は急激な児童・生徒数の減少や人口分布と学校配置の不均衡、校区を離れた中学校の設置等改善すべき現状にあり、次のように統合並びに再配置を実施することが急務である。

- ① 金華小学校、京町小学校、明德小学校、本郷小学校の各校区の生徒が通学する中学校を川南地区に設置する。その場所は岐阜大学医学部跡地の活用も含め、公共施設の再配置の観点から、早急に検討すべきである。早田小学校及び則武小学校の全生徒が通学する中学校を、現伊奈波中学校または現明郷中学校のいずれかにする。
- ② 金華小学校と京町小学校、明德小学校と本郷小学校、徹明小学校と木之本小学校及び白山小学校と梅林小学校の各2校を統合し、適正規模化を図る。華陽小学校は将来にわたって相当の期間、適正規模を維持できることが予想されるため現状のままとする。
- ③ 統合再配置の実施にあたっては、新しい学習内容や少人数指導に対応できる特色ある校舎施設とする新・増・改築のほか、教職員の配置等、他のモデルとなる学校の設置をめざすべきである。
- ④ 該当の校区においては、児童・生徒の保護者や学校のみならず、広く住民相互による話し合いの場が持たれ、理解が深められねばならない。

この答申を踏まえ、岐阜市教育委員会では関係小中学校の保護者の皆さんや地元の方々との話し合いを積極的に進めてきました。それとともに、旧市内9地区の代表者(自治会連合会長、PTA会長、校長)の27名で構成する旧市内学校再編問題協議会において、統合についての協議を重ねられてきました。このたび、教育委員会ではこれらの取組を通じて皆さんからいただいた意見を参考に、小中学校の適正規模化、適正配置に向けて、次の4点を具体的な方針として決定しました。

旧市内小中学校の適正規模化・適正配置の方針

① 小学校の統合について

- ① 金華小学校と京町小学校を平成20年4月に統合し、京町小学校を仮校舎とする。
- ② 金華小学校と京町小学校の統合校は、金華小学校の場所に新築する。
- ③ 明德小学校と本郷小学校、徹明小学校と木之本小学校及び白山小学校と梅林小学校の統合については、学校再編問題協議会の専門部会としてそれぞれに統合推進部会を設置し、統合小学校の位置、時期についての話し合いを積極的に進める。
- ④ 華陽小学校は、将来にわたって相当の期間、適正規模を維持できることが予想されることから現状のままとし、将来、必要に応じて検討を行う。

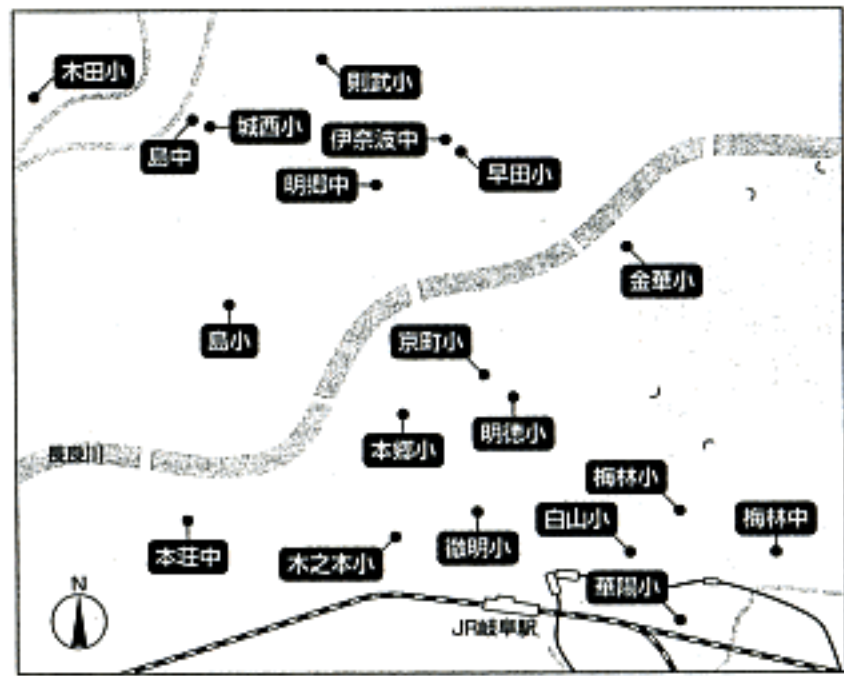


② 中学校の再編について

- ① 島中学校の通学区域〔島小、城西小、木田小、則武小の一部〕を適学区域〔島小、城西小、木田小〕に再編する。
- ② (仮称)北中学校の通学区域を〔早田小、則武小〕とし、伊奈波中学校または明郷中学校の校舎を利用する。
- ③ (仮称)南中学校の通学区域を〔金華小、京町小、明德小、本郷小〕とし、京町小学校跡地に(仮称)南中学校を新設する。

現況	小学校統合	中学校暫定的再編	中学校再編
島中 島小 755人 城西小 575人 木田小 162人	→	(新)島中	
伊奈波中 則武小 484人 早田小 589人 金華小 240人 京町小 190人	→ 金華・京町統合小	伊奈波中と、明郷中の校舎を利用して、2つの中学校に再編	(仮称)北中 (仮称)南中 京町小跡地利用
明郷中 明德小 148人 本郷小 323人	→ 明德・本郷統合小		
本荘中 徹明小 137人 木之本小 269人 本荘小 591人	→ 徹明・木之本統合小		
梅林中 梅林小 335人 白山小 239人 華陽小 381人	→ 梅林・白山統合小		

※数字は平成17年5月1日現在の児童数です。



③ (仮称)南中学校について

- ① (仮称)南中学校の建設において、京町小学校跡地だけでは狭隘であるため、隣接する県立盲学校跡地を活用することを県教育委員会と速やかに協議する。なお、校地内にある中央青少年会館や公民館の配置についても検討する。
- ② (仮称)南中学校の新設には年月がかかることから、島中学校の大規模校化と則武小学校の分離入学及び明郷中学校の小規模校化という課題を解決するため、現在の島中学校、伊奈波中学校及び明郷中学校の中で、通学区域を暫定的に見直すことを検討する。



④ 小中学校の統合・再編にかかる建設計画について

- ① 金華小学校の場所に新築する金華・京町統合小学校は、平成22年4月開校を目標とする。
- ② 京町小学校跡地に新設する(仮称)南中学校は、平成24年4月開校を目標とする。